

# あまりにも早すぎない？

たった  
2ヶ月半で  
合併？

## 合併協議会で決まった事・・・

- ◇ 新設合併とし、新市の名前は「奥州市」とする。
- ◇ 総合支所方式とし、事務所の位置は現在の水沢市庁舎とする。
- ◇ 合併期日は平成18年2月20日とする。など

## あとは・・・？ 「新市になってから考える!？」

江刺市は1月15日、水沢市・前沢町・胆沢町・衣川村との5市町村合併の法定協議会に参加する事を決定しました。短期間で合併を進めるために、毎週のように法定協議会が開催されていますが、ほとんどの協議内容が、「新市に引き継ぎ、合併後に調整」となっています。

これは、とりあえず合併して「どうするかは後で考えましょう。なるようになりますよ」と言っているようなものです。これまでで決定している事項は、新市の名前と総合庁支所方式をとることくらい。しかし、協議会資料を見てみると住民負担は大幅に増大する方向で計画されています。これでは、合併後の私たちの地域がどうなっていくのか判らず、不安が募ります。まさに、住民意見が十分反映されない合併が進められています。

急ぎすぎる合併判断は、本当の意味での「江刺地域発展のための合併」にはなりません。合併後の暮らしがどう変わるのかをしっかりと見据えた「新しいまちづくり」の構想が必要ではないでしょうか。



合併して  
本当に  
大丈夫？

私たちは、江刺地域の発展のため、議論をつくさない  
「まず合併ありき」の進め方に反対しています。

私たちは、江刺市長に対し十分な協議と議論の場を求めます。



自治労江刺市職員労働組合  
〒023-1111 江刺市大通り 1-8  
Tel. 0197-35-5039 Fax 0197-35-1530

# 時間切れ間近 やっと見えた「負の実態」

## 合併直後から財政見直ししか!?

3月10日に開催された、第9回の合併協議会では「財産の取り扱い」「新市建設計画」が協議されました。ここで大きな議論となったのが、競馬組合の多額の負債の取り扱いをめぐる問題です。

県議会が10日に競馬組合に対する27億円の融資を決定したことを受けて、多くの委員から水沢市の対応と、新市における負担の考え方が質問されました。

合併協議会事務局はこの取り扱いについて、「競馬組合全体の融資額37億円のうち、構成団体である水沢市の負担分5億円については、新市建設計画における水沢市の普通建設費から充当する」旨を説明しましたが、5億円の決算処理の方法や、その後の累積赤字が回復しない場合の取り扱いについては具体的に触れられないままとなりました。

また、競馬組合が存続できない場合の負債清算についても多くの委員から質問が集中し、これに対して合併協議会の高橋会長（水沢市長：競馬組合副管理者）は、5市町村の首長間協議として見解を示しました。新市に引き継がれる負担額はなんと約90億円にもぼるのです。この多額の「負債」を処理するためには、今議論されている「新市建設計画」の事業内容を見直すことはもちろん、様々な住民の負担を覚悟しなければなりません。国の合併支援効果を相

殺しかねないこの問題を先送りせず、具体的な対処方法を確認し進めるべきです。将来に禍根を残した形では、金ヶ崎町も含めた胆江地域の和は生まれるはずがありません。結果、われわれが望む胆江地域の発展は泡となって消えるでしょう。

こんな大きな問題がやっと明らかになったのが3月10日という協議会の最後になってからです。重要な問題だからこそ、時間をかけ住民の不安を取り除く努力をすることが、新たな地域をつくるために必要な事ではないでしょうか？

### 首長間協議による見解

「仮に（競馬組合の）廃止ということを想定した場合、新市建設計画における普通建設事業費の配分算定を再計算する」

◇ 平成16年度末時点での県競馬組合の総負債額は362億円。  
（地方債残高139億円、一時借入金146億円、解体費用や厩舎見舞金など87億円） \*不動産等、財産の売却収入は見込んでいません。

◇ 水沢市の清算負担割合は25%（県50%、盛岡市25%）  
 $362 \text{ 億円} \times 25\% = \text{約 } 90 \text{ 億円}$

この約90億円にもぼる負債のうち、首長間協議で決定した水沢市負担額はごく一部でしかなく、残る大半の負債額を5市町村でどう負担するかは先送りのまま合併を迎えようとしています。

どうするの？ **90億円** の捻出方法 競馬組合廃止後の「負の財産」処理は  
いまだ不明確のまま